

2007年

(2007/01/01~2007/12/31)

循環器科における治療内容

中央病院 循環器科

現在、狭心症および心筋梗塞などの虚血性心疾患の診断、治療において冠動脈カテーテル検査および冠動脈形成術（PCI）は確立された検査、治療になっております。当院における2007年度（1月から12月）の治療内容を下記に示します。ご参照ください。

心臓カテーテル検査	923件
経皮的冠動脈血管形成術（PCI）	479件
末梢動脈血管形成術（PTA）	52件
ペースメーカー	63件
新規	45件
交換	8件
一時 ^ハ -ツグ	10件

【ステント治療の内訳】

従来 ^ノ の金属ステント（BMS）	275件（51%）
薬剤溶出ステント（DES）	268件（49%）
バルーンにおける拡張	166件

非閉塞病変	671病変
手技成功率	99%
閉塞病変	38病変
手技成功率	84%

【治療成績】

急性冠症候群（ACS）	106件
急性心筋梗塞 70例 手技成功率	100%
不安定狭心症 36例 手技成功率	100%
狭心症	
非閉塞病変（671病変） 手技成功率	99%
慢性閉塞病変（38病変） 手技成功率	84%